



Jolly Phonics

Learn to
read
with us!

保護者/教師用ガイド

ジョリーフォニックスは英語圏の子どもたちが低学年までに
学習する教材です。





Jolly Phonics (ジョリーフォニックス) は英語の読み書きを習得するための完全な基礎教材です。Jolly Phonicsでは、楽しくそして多感覚的であるという観点から、文字の音の指導方法としてsynthetic phonics (シンセティック・フォニックス) 法を採用しています。子どもたちは、言葉を読んだり書いたりするためにどのように文字の音を使ったらよいのかを学んでいきます。

当ガイドには保護者の方や先生方へのアドバイスが満載です。Jolly Phonicsの背景にある理念の解説も記載されていますので、指導方法の理解にも役立つでしょうし、また子どもたちへの支援もよりの確に行えるようになることと思います。

全ての教材は学校で使用するのに最適なものばかりです。また、ほとんどの教材 (*マークがついたもの) はご家庭でのご使用にも適しています。教材は複数併用して使っても、あるいは単独でご使用いただいても、どちらでも効果的にご利用いただけます。

Jolly Phonicsではsaid, was, theのような不規則単語 (または “tricky words” (ひっかけ単語)) も併せて学習するようになっています。これらの教材とあわせて様々なお話の本のご使用をお勧めします。

どの子どもたちも、学んでいく上でたくさん褒められ、そしてたくさん励ましてもらうことが大きな成果に結び付きますので、ご家庭でのサポートはとても重要なものとなります。お子さまが進めていきたいペースで進めていくようガイドしてください。もしお子さまの興味がなくなりそうな場合には、しばらくの間教えることをやめてみた後で、再び始めてみるとよいかもかもしれません。全ての子どもたちが簡単に音を覚えたり単語を読むことができるとは限りません。お家でのちょっとしたサポートですらすら読めるようになり、学校での勉強にもついていくことができるケースも多いのです。

読み書きのための5つの基本的な技能とは:

1. 文字の音を覚えること
2. 文字の形を覚えること
3. ブレンディングすること
(文字と文字をつなぎ合わせて一つの単語として読むこと)
4. 単語の中にある音を識別すること
5. ひっかけ単語を正しく綴ること



当ガイドではこれら5つのスキルについて個別に説明を行なっていますが、学習時にはまとめて学んでいきます。

1. 文字の音を覚える

Jolly Phonicsでは、26個のアルファベットのみでなく、英語の主要な42個の音を学習します。これらの音は7つのグループに分けられます。その中のいくつかはeeやorのように二つの文字で表記されており、それらはdigraph (ダイグラフ) と呼ばれています。ダイグラフの中には、一つの表記で二種類の音を表わすものもあります。例えば、bookやmoonの中のooや、thatやthreeの中のthがそれにあたります。こういった二種類の音を区別するために、ダイグラフは二種類の書体で表記されています。以下をご覧ください。

1. s, a, t, i, p, n
2. c k, e, h, r, m, d
3. g, o, u, l, f, b
4. ai, j, oa, ie, ee, or
5. z, w, ng, v, oo, oo
6. y, x, ch, sh, th, th
7. qu, ou, oi, ue, er, ar



それぞれの音ごとに子どもたちがその文字を覚えやすいような固有のアクション (動作) が設定されています。お子さまの学習が進んできたら、文字を指し示してみてください。さっとアクションをしながらその音を口にする様子がお分かり頂けると思います。一日に一つの文字の音を教えていくと良いでしょう。お子さまが自信をつけてくるにしたがって、アクションは必要なくなっていきます。当ガイドの8ページ目に全ての文字に設定されているアクションが一覧表示されていますので、ご参照ください。

子どもたちはそれぞれ文字を、文字の名前ではなく文字の音で覚えていきます。例えばaという文字は、ai (エイ) という文字の名前ではなく、antという単語の中で聞かれるa (ア) という文字の音で呼ばれます。同様に、nという文字はen (エヌ) という文字の名前ではなく、netという単語の中で聞かれるnn (ン) という文字の音で呼ばれます。これを徹底することで、後にブレンディング (文字と文字をつなぎ合わせて一つの単語として読むこと) のスキルへとつながっていくことになるのです。それぞれの文字の名前は、音を覚えたあとで導入していきます。

文字を教える順番はアルファベット順ではありません。最初のグループは (s, a, t, i, p, n) なのですが、この6つの文字の音を最初に学ぶことで、簡単な3文字の単語をより多く導入することができるのです。また、bとdは子どもたちにとって取り違えやすい文字ですので、混乱を避けるため異なるグループの中で教えていくことにしています。

同じ音でありながら異なった綴りがある同音異綴の文字の音も、最初は一種類の綴りだけを導入していきます。ai (エイ) という音を例にとると、rain (雨) の中の ai が最初に導入され、その後同じ音で異なる綴りのgate (門) に見られるa-eや、day (日) に見られるayをさらに後になってから導入していく方法を採用しています。Jolly Phonics Word Bookにいろいろな例が紹介されていますのでご参照ください。



2. 文字の形を覚える

子どもたちが鉛筆を正しく持つということは、とても重要なポイントなのです。



右利き、左利きに関係なく
握り方は同じです。

鉛筆は必ず親指と人差し指、中指でしっかりと持つ“三本握り”で持ちます。子どもたちが間違っていた鉛筆の持ち方を最初に覚えてしまうと、後々矯正することは難しくなります。

子どもたちはそれぞれの文字を正しい筆順で書かなければなりません。cという文字は学習の早期に導入されます。これはcという文字が、例えばdの左半分のように、他の文字の基本となる形をしているためなのです。よく見られる筆順の間違いの例を挙げると：

- ・oという文字 (筆順は反時計回りであって、時計回りではないこと)
- ・dという文字 (文字の書き始めが一番上ではなく、真ん中から始まること)
- ・mやnのような文字の場合、最初に左上から下に書き下ろさなければいけないこと

Jolly Phonics DVDやJolly Stories、Finger Phonicsの本でそれぞれの文字の正しい書き方が紹介されています。ノートの下線の位置から書き始める文字は一つもないことを覚えさせるといいでしょう。

子どもたちは、ゆくゆくは半筆記体(筆記体)も習うようになります。半筆記体(筆記体)はすらすらと字を書くことと綴りを覚えるのに役立ちます。単語を一つなぎで書くようになってくると、綴りを正しく覚えることが楽になってきます。Jolly Phonicsでは子どもたちが読み書きを習得するために開発されたSassoon Infant typeface (サッスーン インファント 半筆記活字体)を採用しています。この書体では多くの文字 (例えばdやnが分かりやすいのですが) に、「はね」があります。これは半筆記体(筆記体)への移行を容易にするためなのです。

(多くの学校では、早い時期に半筆記体(筆記体)を教えていないこともありますので、お子さまが通う学校の方針をご確認ください。)



3. ブレンディング (それぞれの文字の音をつなぎ合わせて一つの単語として読むこと)

ブレンディングとは、単語に含まれる文字の音の一つずつ読み上げ、それから、その音全体で一つの単語を形成するように音を融合させながら読んでいく方法のことです。

例えば、d-o-g と一文字ずつ読み上げた結果、dogという単語を発話する方法がブレンディングです。全ての子どもたちが学ばなければならない方法なのですが、練習することで必ずどんどんこのスキルは上達していきます。まず初めに、大人が文字の一つずつ読み上げてみて、子どもたちがそれを単語として聞き取れるか試してみましょう。必要であれば、その単語を言ってあげても構いません。ブレンディングによる単語の聞き取りができるようになるまでの時間は、個人個人によってまちまちです。単語としての聞き取りができるように、素早く文字の音を発音してみてください。また、一番初めの文字の音を少し大きめに発声するように意識すると良いでしょう。b-u-s, t-o-p, c-a-t, h-e-n などのような単語から始めて、少しずつかつ頻繁に練習させてみてください。The Phonics HandbookやJolly Phonics Word Bookに、ブレンディングに適した単語が一覧形式で掲載されていますのでご利用ください。

前述しましたが、shのように、いくつかの音は二つの文字で一つの音が作られています(digraphsダイグラフ)。子どもたちはダイグラフ (例えばsh) を見たら、一文字ずつ (例えばsとh) 読み上げるのではなく、必ずダイグラフ (例えばsh) として読み上げなければなりません。練習していけば、単語の中のダイグラフも一つの音として捉えることができ、ブレンディングできるようになっていきます。つまり、rainという単語ではr-a-i-nではなくr-ai-nですし、feetという単語ではf-e-e-tではなくf-ee-tと捉えることができるようになってくるのです。最初は難しく感じるでしょうし、読み上げに時間もかかります。The Jolly Phonics Regular Word Blending Cardsを教室で使って、このスキルの向上に役立ててください。

もう一つ、stというような子音の結合音とshのようなダイグラフの違いを意識すると、より教え方が楽になります。まず、子音の結合音であるstの発音では、sとtというそれぞれの文字の音は個別にきちんと聞きとることができます。他方で、ダイグラフでは聞き取ることができないのです。ちょっと単語を変えてmishap (/m-i-s-h-a-p/ 不幸な出来事) とmidship (/m-i-d-sh-i-p/ 船の中央部) の二つの単語を例にとって比較してみましょう。どちらにも同じshが含まれているのですが、前者のmishapではsとhの文字の音がそれぞれ単独で聞こえるのに対し、後者のmidshipのshはそれ自体がはっきりと独立した一つのshの音として聞こえるのが分かると思います。また、子音の結合音の文字が含まれている単語を読み上げる時には、f-l-a-gというように個別の文字単位で読み上げるのではなく、fl-a-gというように結合音単位の音として読み上げるように子どもたちに指導してください。これを継続することで、読む時にすらすらと読めるようになっていくのです。



英単語の中には、saidやwas、oneのように、ブレンディングによって読むことができない不規則な単語があります。しかも残念なことに、こうした多くの単語は使用頻度が高いものなのです。こうした不規則な単語は暗記するしかなく、“tricky words” (ひっかけ単語) と呼んでいます。



4. 単語の中にある音を識別する



単語をどのように綴ったらいいかを知る一番いい方法は、その単語の中の文字の音にしっかりと耳を傾けることです。たとえそれがひっかけ単語であっても、文字の音を理解することが重要なのです。

まずは、子どもたちに単語の一番最初の音をしっかりと聞き取るようにさせましょう。I-Spy (こんなものが見えるよ) のようなゲームは、最初の音を

聞くという点で一番いい方法です。それができるようになったら、今度は単語の最後の音をしっかりと聞き取るようにさせましょう。単語の中の最初と最後の音に挟まれている音が一番聞き取りにくいのです。

最初はcatやhotのようなわかりやすい三文字の単語から始めましょう。単語を言いながら、その音に合わせて手などでトントンと拍子を打ってみると良いと思います。例えば三回トントンと拍子を打ったら、三つの音を含む単語を意味しているとわかります。トントンと手で拍子を打ちながらそれぞれの文字の音を言ってみます。この時、ダイグラフにご注意ください。例えばfishという単語はf-i-s-hと文字は四つありますが、音はf-i-shと三つしかありません。

ライミング (catやhatのように同じ音で終わる単語＝韻を踏む) ゲームや詩、Jolly Songsも単語の中の音を聞き取る耳の力を養うのに役立ちます。他にも次のようなゲームもあります。

a) 音の足し算: ink (インク) の前にpの音を付け加えたら、何になる?

答えはpink (ピンク)。他にも、ice (氷) の前にmの音を付け加えたらmice (ネズミ)、us (私たち) の前にbの音を付け加えたらbus (バス) になる、などなど。

b) 音の引き算: pink (ピンク) からpの音を取り除いたら、何になる?

答えはink (インク)。他にも、f-lap, s-lip, c-rib, d-rag, p-ant, m-end, s-top, b-end, s-t-rip などあります。

5. ひっかけ単語を正しく綴る

ひっかけ単語の綴りを覚えるにはいろいろな方法があります。

1) 見て、隠して、書いて、チェックしよう。

まず、どの部分がひっかけになっているか単語を見ます。次に、お子さまに、その単語の綴りを文字の音を口に出しながら宙に書くように指示します。そして、その単語を隠して、お子さまが正しく書けるか試してみましょう。最後に、答え合わせをしてみましょう。

2) その音の通り言ってみよう。単語のそれぞれの文字の音の通りに単語を言ってみましょう。例えば、was (本当に発音はウォズ:最後が有声音) という単語はmassと同じような発音になるようにwassの発音を口に出して覚えます。また、Mondayであれば、M-on-day (マンディではなく、ム・オン・ディ) の発音を口に出して憶えます。

3) 暗記法を利用してみよう。例えば、laugh (笑う) という単語であつたら、Laugh At Ugly Goat's Hair (醜いやぎの毛を笑おう) というように、その単語を構成しているそれぞれの文字が最初にくる文を使って覚えましょう。

4) 筆記体 (半筆記体) も、綴りを覚えるのに、一助になります。



Storybooks (お話の本)



子どもたちは、楽しく読書することの喜びから多くのものを得ていきます。お話を読んでもらうことから始めて、次第に読むことが好きになっていくのです。

お子さまが文字の音を覚え始めれば、単語の中からその音を探し出すことができるようになります。そしてその後、文字の音をブレンディングして一つの単語として読むことを学んでいきます。ですから、簡単な単語のみを使用したお話の本から読み始めれば、お子さまにとって読書がより簡単に定着するようになります。Jolly Readersはこの聞き取り能力の発達段階に合わせてご利用いただけます。

読むことが難なくできるようになってきたら、次に子どもたちにとって一番大切なことは読解力をつけることと、そしてより多くの単語を理解することです。お子さまが読み終えたお話について、いろいろと質問をしてみてください。そうすることで、読解力や単語力はどんどん身についていくようになります。

ジョリーフォニックスについて

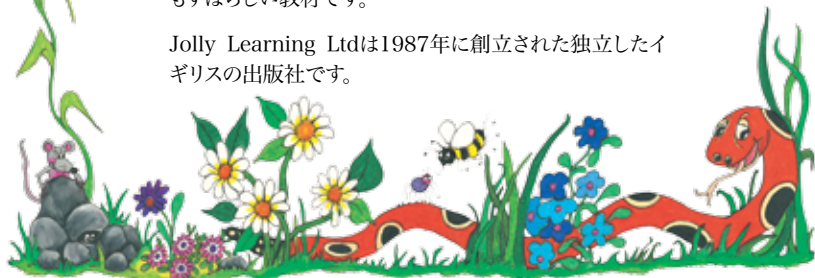
Jolly PhonicsはイギリスのLowestoft (ローストフト) にあるWoods Loke (ウッズローク) 小学校で教師として勤務していたSue Lloyd (スー・ロイド) とSara Wernham (セーラ・ワアーナム) によって開発された教材です。

独自に行われた調査によれば、一年間の英語教育を受けた子どもたちの読む力は、Jolly Phonicsを使って指導した場合、実際の年齢における読む力の平均よりも12ヶ月分先に進んでいるとの結果が示されています。また、書く力においても、実際の年齢における書く力の平均よりもやや少し先に進んでいることが示されています。更に、同年代で女子よりも能力がやや劣りがちな男子も、女子のレベルと同様にまで伸びていることも分かっています。



Jolly Phonicsは多感覚を複合的に使う教材であり、たとえ一日の終わりにくたくたになった状態であったとしても、自信を持って、かつ簡単にこの教材を使ってご指導頂けるものになるよう、細心の注意を払って開発された、とてもすばらしい教材です。

Jolly Learning Ltdは1987年に創立された独立したイギリスの出版社です。



アクション(文字の間にコンマがないものは音をつなげて、あるものは一つずつ音を区切って言う。)

s ヘビのように手をSの字にくねくねさせ、ssssssと言う
a アリが肘から上に這い登っていくかのように、肘から肩にかけて指をひらひらと動かし、a, a, aと言う
t テニスを見ているふりをしながら、首を左右に動かしながら、t, t, tと言う
i 1 ネズミになったつもりで両手で鼻先からヒゲを手で触れるようにしながら、i, i, iと鳴く
p ろうそくを消すふりをして、p, p, pと言う
n 両手を広げて、自分が飛行機になったつもりで、nnnnnという音を出す

c k 両手を宙に挙げてカスタネットをならすようにしながら、ck, ck, ckと言う
e フライパンに卵を割り入れるしぐさをしながら、eh, eh, ehと言う
h 2 口の前に片手を持ってきて、息を切らしたふりをしながら、h, h, hと言う
r 子犬になったつもりで口に布切れをくわえたふりをして、首を横に振りながら、rrrrrと言う
m おいしそうなお飯を見たつもりで、お腹を片手でなでながら、mmmmmと言う
d 太鼓をたたいているように両手を上下させて、d, d, dと言う

g 水が排水溝に吸い込まれていくように手を下向きにしてくる回るしながら、g, g, gと言う
o 電気のスイッチを消したりつけたりするまねをしながら、o, o, oと言う
u 3 傘をさすまねをしながら、u, u, uと言う
l ペロペロキャンディーを舐めるふりをして、l, l, l, l, l, lと言う
f 魚形の浮き輪の空気が抜けるように上下に開いた両手をだんだんと近づけながら、fffffと言う
b バッドでボールを打つ真似をしながら、b, b, bと言う

ai 何かを聞くように耳に手をあてて、ai, ai, aiと言う
j 自分がお皿の上に乗っているぶるぶる震えるゼリーになったつもりで、j, j, jと言う
oa 4 何か悪いことをしてしまったかのように片手で口を押さえるようにしながら、ohlと言う
ie 気をつける姿勢で立って、敬礼のポーズをしながら、ie, ieと言う
ee or ロバの耳のように両手を頭の上のところで立てたり倒したりしながら、eeyore, eeyoreと言う

z 腕を体から横に出して、ハチになったつもりで、zzzzzzと言う
w 自分が風になったつもりで、開いた手に息を思い切りふきかけながら、wh, wh, whと言う
ng 自分が重量挙げ選手になったつもりで、頭の上で重いバーベルを持ち上げるようにして、ngと言う
v 5 ライトバンを運転するように、ハンドルを握るふりをしながら、vvvvvvと言う
oo oo ハト時計からハトが出てくるように頭を前後に動かしながら、u, oo, u, oo,と言う

y ヨーグルトを食べるふりをしながら、y, y, yと言う
x カメラで誰かのレントゲン写真を撮るふりをしながら、ks, ks, ksと言う
ch 6 機関車のロッドのように両手を体の横で動かしながら、ch, ch, chと言う
sh 人差し指を口に持ってきて静かにさせるように、shshshと言う
th th 行儀の悪いピエロになって、舌を少し出してth (thisのth:有声音)、もう少し出してth (thumbのth:無声音)と言う

qu 両手でアヒルのくちばしを作って、qu, qu, quと言う
ou 自分の指を針に見立てて親指を刺しながら、ou, ou, ouと言う
oi 7 船から違う船に向かって叫ぶように、口の周りに両手を持っていき、oi! ship ahoy!と言う
ue 自分の周りにいる人を指差しながら you, you, youと言う
er ハンドミキサーのように両手を互いにくるぐると回しながら、erererと言う
ar 口を横に大きく開き、ahと言う (イギリス英語)

8 アザラシのように手をばたばたとしてar, ar, arと言う (アメリカ英語)

ご家庭用教材

*マークの教材はご家庭でもご利用いただけます

My Jolly Phonics * (マイジョリーフォニックス)



New!



このマイジョリーフォニックスのセットは、ご家庭でのご利用を念頭に開発されたもので、広範囲をカバーするさまざまなジョリーフォニックスの教材がセットになっているものです。特に読み書きを始めたばかりの段階のお子さま向けの教材として最適です。このセットにはお子さま自身が喜んで楽しみながら次から次へと学んでいくようにするための、様々な多感覚を複合的に使う教材がたくさん含まれています。これらの教材は華やかな色あいのキャンバス地のバッグに入っており、お子さま自身が持ち運ぶことができます。

また、保護者の方向けの商品説明書が同梱されておりますので、ジョリーフォニックスに関する参考情報やご家庭での商品の使い方などについてご確認いただければと思います。

このセットに含まれているものは：

- ・ジョリーフォニックス アクティビティーブック 1-7
- ・ジョリーフォニックス DVD
- ・ジョリーフォニックス ご家庭用ゲームCD (シングルユーザー向け)
- ・ジョリーソングス
- ・ジョリーストーリー
- ・ジョリーフォニックス文字の音ポスター
- ・更に三角鉛筆 (赤、黄、青、黒) と消しゴムもれなくついてきます



Jolly Phonics Activity Books 1-7 (ジョリーフォニックス アクティビティーブック 1-7) *



インキーマウスとインキーのお友達と一緒に、おもしろさがぎゅっとつまった7冊のこの本を使って、文字の音を子どもたち自身に発見させましょう。A4サイズの36ページのフルカラー（うち2ページはシール）のこの7冊で、42個の文字の音を全部カバーしています。一つ一つの文字の音にはアクションだけでなくお話も設定されています。



また、それぞれの本には、子どもたちが興味を持つような様々なアクティビティーが用意されています。例えば、ぬり絵・文字を書く練習・パズル・迷路・ゲーム・工作・絵と言葉合わせ・フラッシュカード・単語リストなどなど。はっきりとしたわかりやすい説明が記載されていますので、大人がそれほどサポートしなくても、子どもたちはいろいろな楽しいアクティビティーに引き込まれていくことでしょう。

このジョリーフォニックス アクティビティーブックは、子どもたちを喜ばせ、楽しませながら、同時に自信を育て、とても大切な基礎技能を身につけさせながら、子どもたちを読み書きの初級段階へと導いてくれることでしょう。対象年齢：3歳以上



Jolly Stories (ジョリー ストーリー:楽しいお話) *

インキーマウスと彼女のお友達の冒険を一緒に体験しましょう。42個の文字の音を学びながら、7つのお話をインキーたちと一緒に冒険していきましょう。厚めの紙で作られたこのかわいらしい絵が満載の本には、見開きで40ページ。それぞれの見開きページごとに一つまたは二つの文字の音が紹介されています。また、それぞれのページごとに、読んだり綴りを練習したりするための単語集と、ジョリーフォニックスのアクションもついています。大きな文字はエンボス加工されていますので、子どもたちはそれをなぞって感触で文字を覚えることもできます。

Jolly Phonics Games CD (ジョリーフォニックス ゲームCD) *

インキーマウスと彼女のお友達の世界を訪れてみましょう。子どもたちの読み書きを手助けしてくれますよ。20個の楽しいアクティビティを通じて、子どもたちはジョリーフォニックスの5つの技能を実際に習得していきます。ゲームは3段階の難易度に分かれていますので、読む学習の初期のどのレベルのお子さま (3歳から6歳まで) にとっても最適な教材です。



Jolly Phonics DVD (ジョリーフォニックスDVD) *

このDVDでは全ての文字の音と、読み書きのための5つの技能が全て網羅されています。子どもたち用のおもしろいボーナスアクティビティ、大人用の“ジョリーフォニックスの使い方”映像、さらには英語を外国語又は第二言語として学ぶ方用にも最適な英語の文字の音を説明するセクションも含まれています。

Finger Phonics Books 1-7

(フィンガーフォニックス:指で覚えるフォニックス1-7) *

DVDを観た後にお子さまと一緒に使うのに最適な教材です。7冊のそれぞれの本は6つずつの文字の音のグループに対応しています。文字が溝になっていますので、子どもたちは正しい文字の形を指でなぞりながら覚えることができ、また同時にアクションを使って正しい音を覚えていくこともできます。

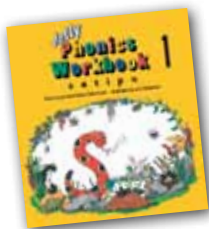


Jolly Phonics Magnetic Letters

(ジョリーフォニックス 文字マグネット) *

この容器には106個の小文字の形をしたマグネットが含まれています。子音は赤色、母音は青色と色分けされています。ダイグラフも含まれています。





Jolly Phonics Workbooks 1-7 (ジョリーフォニックス 練習帳 1-7) *

子どもたちにとって習ったばかりのスキルをしっかりと楽しみながら身につけるためのワークブックです。7冊を通じて1つずつの文字の認識、半筆記体、そして母音の同音異綴まで網羅しています。更に、ひっかけ単語の綴り対策や発音のスキルを伸ばすためのチャレンジパズルまで含まれています。対象年齢:4歳以上

Jolly Songs (ジョリーソングス:楽しく歌おう) *

Jolly Phonics の42個の文字の音それぞれをおなじみのメロディーにのせて歌にしました。このCDの中では実際に子どもたちが歌っています。ご家庭、個別指導のレッスン、あるいは小さなグループレッスンに最適な教材です。42個の文字の音が全て収録されています。



Jolly Phonics Letter Sound Poster (ジョリーフォニックス 文字の音ポスター) *

42個の文字の音が掲載されているポスターです。それぞれの音のアクションも一目でご確認いただけます。ご家庭や教室などで、年齢が上の子どもたちの復習用としてお勧め致します。



Stencilets (ステンシル型) *

このステンシルの型のセットは、小さいお子さまたちが運筆や文字の形を学習する教材として最適です。紙をしっかりとずれないように挟むことができ、また丈夫で洗えるプラスチックで作られています。



Jolly Phonics Puppets (ジョリーフォニックス 楽しい仲間たち) *

ジョリーフォニックスの3種類のオリジナルキャラクターのインキーマウスとビー、そしてスネイク。柔らかなフラシ天素材で作られたこのぬいぐるみを使って、彼らに命を吹き込んでみませんか。



Jolly Phonics Read and See (ジョリーフォニックス 読んで絵を見て) *

1冊につき1つずつテーマを設定し、そのテーマごとに作られた単語本です。子どもたち文字の音を学習した段階から、発音とブレンディングの練習に役立てることができます。子どもたちが読んだ単語のイラストは次のページの折り込み部分を開くと出てきます。

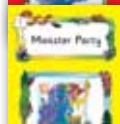


Jolly Readers (ジョリー リーダーズ:楽しく本を読む) *

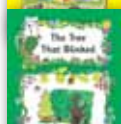
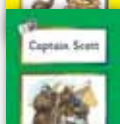
Level 1



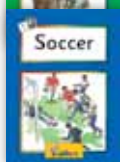
Level 2



Level 3



Level 4

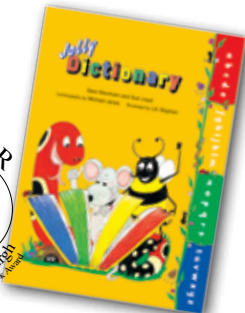


文字を読み始めたばかりの子どもたちにぴったりのおもしろい物語の本です。文字の音の学習レベルに合わせた単語が使われるように配慮されていますので、お子さま自身で読み進めることができます。主要なひっかけ単語は数えるほどしか出てきませんが、それらはそれぞれの本の末尾でまとめて紹介されています。それぞれのレベルごとに、「インキーマウスとお友達」、「一般的なフィクション」、そして「ノンフィクション」の三種類のシリーズが用意されています。それぞれのシリーズは6種類の本で構成されています。

Jolly Dictionary (ジョリー デクシオナリー:楽しい辞書) *

子どもたちの読み書きの力を伸ばし、さらには自分で学習できるようになるために考えて作られた辞書です。対象年齢にふさわしい6,000を超える単語が収録されており、その定義も子どもたちが自分自身で読んで理解できるものを掲載してあります。エジンバラ公アワード*も受賞したこのJolly Dictionary (楽しい辞書) は、かわいらしいイラストが満載で、ジョリーフォニックスの楽しい仲間たちが例を挙げてわかりやすく説明してくれています。*1956年にイギリスのエジンバラ公アワードによる創設による権威ある賞です。

- 子どもたちが使いやすいように色別にした4つのセクションに分かれています。
- それぞれの単語にはダイグラフをつなげた発音表記と強調部分表記を使ったJolly Phonics独自の発音記号ガイドが使われています。



Classroom Resources (教室用教材)



Jolly Phonics Starter Kit (ジョリーフォニックス スターターキット)

先生が教室でジョリーフォニックスを教えるのに必要となるすべての教材が含まれています。これらの教材はすべて、きちんと簡単に収納できる明るい色のキャリーケースに入れられています。

- The Phonics Handbook
- Jolly Phonics DVD
- Jolly Phonics Wall Frieze
- Jolly Phonics Cards
- Jolly Phonics Word Book
- Finger Phonics Big Books 1-7
- Jolly Phonics Letter Sound Strips
- JP Alt Spelling & Alphabet Posters
- JP Tricky Word Wall Flowers

The Phonics Handbook (フォニックスハンドブック)

教室でジョリーフォニックスを教えるなら、まずこの教材から。このハンドブックは、読むこと、書くこと、そして正しく綴ることを教えるのが一冊になった教材です。

Jolly Phonics Wordbook (ジョリーフォニックス単語集)

文字グループ、単語の最初と最後の子音のブレンディング、母音の同音異綴とひっかけ単語ごとに単語がリストになっています。

JP Letter Sound Strips (ジョリーフォニックスの綴り表)

教室で各々の子どもが自分用に使うために30枚のセットになった綴りを確認するための細長い綴り表です。表には文字の音が、そして裏には同音異綴がっています。

Jolly Jingles (ジョリージングルズ:歌を聞いて楽しく覚えよう)

文字の音を定着させ、読む力を伸ばすための、楽しみながら双方向学習用の教材です。各ページにはジングルの歌詞と文字の音のアクション、そして使用されている曲が記載されています。カナダの子どもの音声CD付きです。

JP Tricky Word Wall Flowers (ジョリーフォニックス ひっかけ単語花の形の壁飾り)

ひっかけ単語が書かれた花の形の掲示物です。壁に飾るようになっていて、子どもたちは習ったひっかけ単語を容易に確認することができます。

Jolly Phonics Pupil & Teacher's Books (ジョリーフォニックス 児童・教師用本)

大切な英語の力を伸ばすためのさまざまなアクティビティーが掲載されたこの本は、各子どもたちに一冊ずつ渡して使われることをお勧めします。教師用ガイドブックに教え方が記載されています。

The Grammar Handbooks 1 and 2 (グラマーブック1,2)

ジョリーフォニックスを習得した後、2年かけて子どもたちに文法と綴り、そして句読点のつけかたを紹介する本です。一冊あたり36レッスン分で構成されており、コピーして使えるゲームやアクティビティーがっています。それぞれの文法には単元ごとにアクションが記載されています。

Jolly Grammar Big Books 1 and 2 (グラマーブック教室用特大版1,2)

この本を使用することで新たな文法のコンセプトを教室で教えることが容易になります。

Finger Phonics Big Books (フィンガーフォニックス ビッグブック:指で覚えるフォニックス教室用特大版) 1-7

フィンガーフォニックス:指で覚えるフォニックスの本がそのまま教室で使えるように大きくなった本です。教室内での指専用に向いています。

Jolly Phonics Alternative Spelling & Alphabet Posters (ジョリーフォニックス 同音異綴とアルファベットポスター)

同音でありながら綴りが異なる母音を集めたポスターとアルファベットのポスターの2枚セット。

Jolly Phonics Cards (ジョリーフォニックス フラッシュカード)

教室で使用するための、文字の音・ブレンディング・同音異綴・ひっかけ単語の4セットのフラッシュカードです。

Jolly Phonics Wall Frieze (ジョリーフォニックス壁面ポスター)

7つのグループのイラスト壁面ポスターです。それぞれのグループごとに飾ってもいいですし、7つ全部まとめて飾ってもいいでしょう。また、一枚ずつ文字の音ごとに切り離して使用することもできます。

JP Tricky Word Hat (ジョリーフォニックス ひっかけ単語帽子)

ひっかけ単語花の形の壁飾りと一緒にご使用いただけるフリン天の帽子。単語を帽子にくっつけられるように72個の小さなマジックテープ付き。

Jolly Phonics Classroom

Kit (教室で使うジョリーフォニックスキット)



先生方に教室でご使用いただくための教室用教材の総合セットです。文字の音の習得から同音異綴やひっかけ単語、そしてフォニックスのレベルに合わせた単語のみで書かれた読本など、子どもたちに読み書きを指導するためのリソースがたくさん詰まっています。教材はすべて、きちんと簡単に収納できる明るい色のキャリーケースに入れられています。

以下の教材がすべてこのキットに含まれています：

The Phonics Handbook

フォニックスハンドブック

Jolly Phonics DVD

ジョリーフォニックスDVD

Jolly Phonics Word Book

ジョリーフォニックス単語集

Jolly Phonics Big Books, set of books 1 - 7

指で覚えるフォニックス教室用特大版 1-7

Jolly Phonics Letter Sound Strips

ジョリーフォニックスの綴り表

Jolly Phonics Cards

ジョリーフォニックスフラッシュカード

Jolly Phonics Alternative & Alphabet Posters

同音異綴とアルファベットポスター

Jolly Phonics Tricky Word Wall Flowers

ジョリーフォニックスひっかけ単語花の形の壁飾り

Jolly Phonics Wall Frieze

ジョリーフォニックス楽しい壁面ポスター

Jolly Phonics Puppets

ジョリーフォニックスの楽しい仲間たち

Jolly Phonics Tricky Word Hat

ジョリーフォニックスひっかけ単語用帽子

Finger Phonics set of books 1 - 7

指で覚えるフォニックス 1-7

Jolly Phonics Resources CD

教材作りのためのCD

Jolly Jingles (Big Book and CD)

ジョリージングلز歌を聞いて楽しく覚えよう (特大版本とCD)

Jolly Songs (A4 Book and CD)

ジョリーソングス楽しく歌おう (A4 サイズ本とCD)

Read & See Pack 1 (all 12 titles)

読んで絵を見て 1 (12冊)

Read & See Pack 2 (all 12 titles)

読んで絵を見て 2 (12冊)

Jolly Readers Level 1, Complete set (all 18 titles)

楽しく本を読もうレベル1 (18冊組)

Jolly Readers Level 2, Complete set (all 18 titles)

楽しく本を読もうレベル2 (18冊組)

Jolly Readers Level 3, Complete set (all 18 titles)

楽しく本を読もうレベル3 (18冊組)

Jolly Readers Level 4, Complete set (all 18 titles)

楽しく本を読もうレベル4 (18冊組)

Plus FREE PowerPoint presentation CD and 30 Parent Guides

パワーポイントのプレゼンテーションCDと保護者用ガイド30組も含まれています。



For more information
visit our website
www.jollylearning.co.uk



Find us
on Facebook
at *Jolly Learning*



Follow
us on Twitter
at *jollylearning*



Jolly Learning Ltd

Tailours House, High Road,
Chigwell, Essex, IG7 6DL, UK
Tel: 020 8501 0405
Fax: 020 8500 1696

Email: info@jollylearning.co.uk
www.jollylearning.co.uk

82 Winter Sport Lane,
Williston, VT 05495, USA
Tel: 1-800 488-2665
Fax: (802) 864-7626